

◆月の途中で「公費負担者番号」が変更になった場合

生保利用者が月の途中(1月21日)で公費番号のみ変更となった場合

: 保険者番号が同じで、公費負担者番号・公費受給者番号が変更になった場合の記入例です。

: 第1公費・第2公費の併用となるため1/2・2/2の2枚書きとなります。

1/2

公費負担者番号	1	2	2	2	1	1	1	1
公費受給者番号	9	9	9	9	9	9	9	

様式第二

平成			年			月分
保険者番号	2	2	2	2	2	2

給付費明細欄	サービス内容	サービスコード				単位数		回数		サービス単位数				公費分回数		公費対象単位数				摘要		
	サービス名(※1※2)	X	X	△	△	△	△	1	0	0	3	1	3	1	0	0	2	0	2		0	0

2 枚 中 1 枚

2/2

公費負担者番号	1	2	2	2	3	3	3	3
公費受給者番号	8	8	8	8	8	8	8	

様式第二

平成			年			月分
保険者番号	2	2	2	2	2	2

給付費明細欄	サービス内容	サービスコード				単位数		回数		サービス単位数				公費分回数		公費対象単位数				摘要		
	サービス名(※1※2)	X	X	△	△	△	△	1	0	0	3	1	3	1	0	0	1	1	1		1	0

2 枚 中 2 枚

【注】

※1. 1回につき・1日につきの単位数での請求サービスについては、それぞれの日数・回数で請求してください。

※2. 月包括単位のサービスについては日割りコードにて分割し、それぞれの日数・回数で請求してください。